

マンホール蓋高調整

Manhole lid height adjustment

当初の煉瓦積工法では、マンホール蓋高調整工事の複雑さと長期化が課題となっていた。そのため、セメントコンクリート製の築造ブロックを用いる首部築造工法を1978年に導入した。この工法では、鉄蓋受枠の外周に根巻ブロックを設置することによって、蓋高の調整が容易になるとともに工期の短縮を実現できた。

マンホールブロック積み首部

Manhole block stacking neck

